

# ***SEKONIC***

## **デジシネメイト**

### **L-308DC**

#### **使用説明書**

お買いあげありがとうございます。

この使用説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

## ■ 正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 <b>警告</b>	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。
 <b>注意</b>	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。
 <b>ご注意</b>	操作をする上での注意や制限です。誤った操作をしないために、必ずお読みください。
 <b>ご参考</b>	操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。お読みになることをお勧めします。

### **警告**

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 乳幼児等が誤って、白色平板、シンクローターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 電池を火の中に入れて、ショート、分解、加熱、充電は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

### **注意**

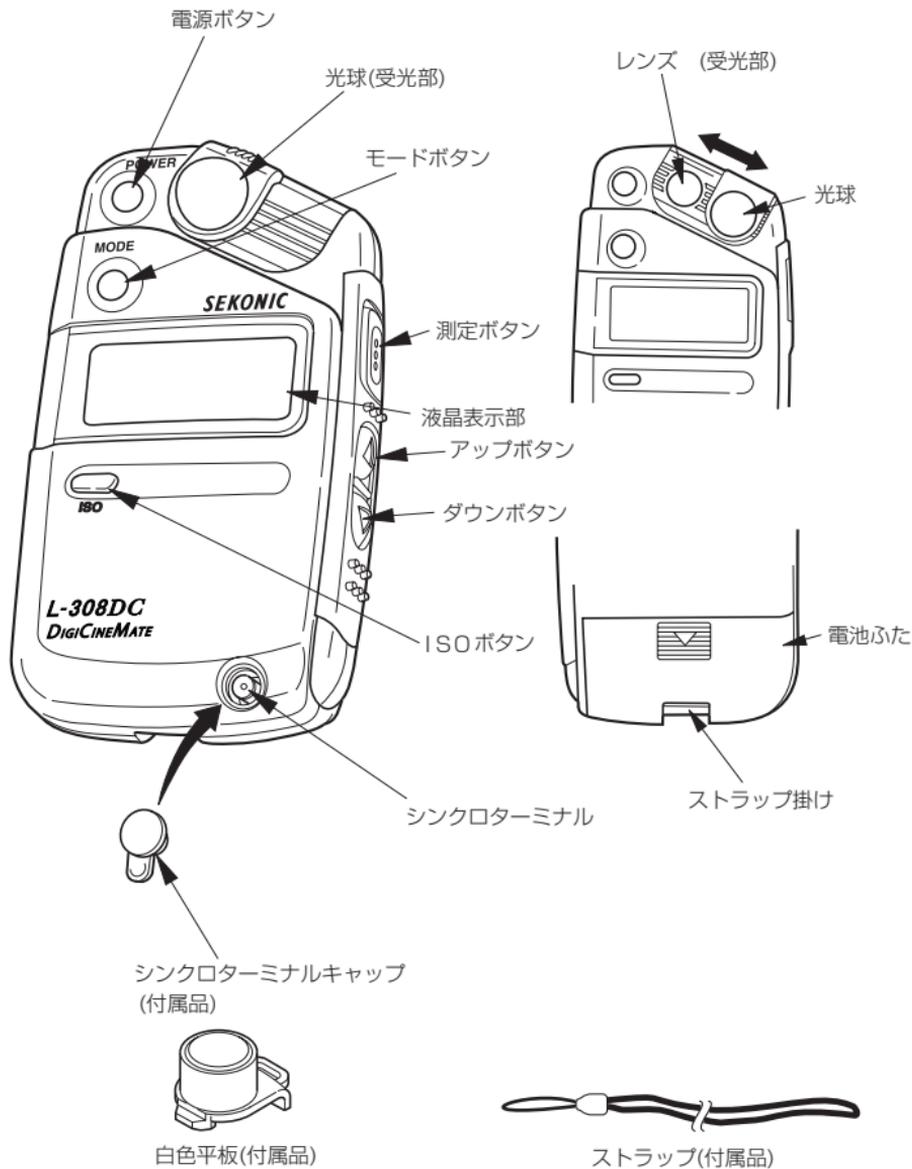
- 雨中、水しぶきがかかる場所や水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。又、製品が故障する原因となる場合があります。
- 本体は絶対に分解しないでください。

## 正しく安全にお使いいただくために

### 目次

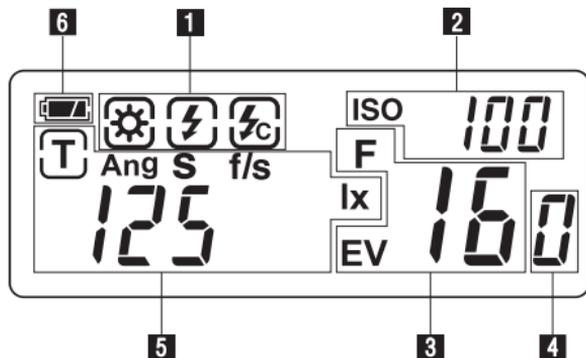
1. 各部の名称	1
2. 液晶表示部の説明	2
3. ご使用前に	3
1. ストラップの付け方	3
2. 電池の入れ方	3
3. 電源のON/OFF	4
4. 電池容量の確認	4
5. 測定中の電池交換	5
6. 自動電源 OFF 機能	5
4. 基本操作	6
1. 受光方式の設定	6
2. 入射光式で測定する場合	6
3. 反射光式で測定する場合	8
4. 基本操作フロー	9
5. 表示モードの選択	10
6. 測定モードの設定	10
7. ISO 感度の設定	11
5. 測定	12
1. HDシネカメラモード	12
1-1. シャッター速度優先モードの測定	12
1-2. フレームレートの設定	13
1-3. 簡易照度の測定	13
2. シネカメラモード	14
2-1. フレームレート優先モードの測定	14
2-2. シャッター開角度の設定	15
2-3. 簡易照度の測定	15
3. フォトモード	16
3-1. 定常光の測定	16
3-1-1. シャッター速度優先モードの測定	16
3-1-2. EV モードの測定	17
3-2. フラッシュ光の測定	19
3-2-1. フラッシュ光コード接続モードの測定	19
3-2-2. フラッシュ光コードレスモードの測定	21
4. 表示範囲 / 測定範囲を超えたときには	23
4-1. 表示範囲を超えたとき	23
4-1-1. 「E.o」が点灯した場合	23
4-1-2. 「E.u」が点灯した場合	23
4-2. 測定範囲を超えたとき	23
4-2-1. 「E.o」が点滅した場合	23
4-2-2. 「E.u」が点滅した場合	24
5. 照明比の測定	24
6. 機能	25
1. 指示値補正機能	25
2. カスタム設定機能	26
7. アクセサリー	28
8. 仕様	29
9. 使用上のご注意	30
10. アフターサービスについて	31

# 1 各部の名称



## 2 液晶表示部の説明

※本表示は説明のため、すべてを表示しています。



### 1 測定モード表示部（フォトモードのみ表示）

- 定常光モード（P 16 参照）
- フラッシュ光コードレスモード（P 21 参照）
- フラッシュ光コード接続モード（P 19 参照）

### 2 ISO 表示部（P 11 参照）

**ISO** ISO 感度を表示します。

### 3 測定値表示部

- F** 絞り値を表示しているとき、点灯します。
- EV** EV モードのとき、点灯します（P17 参照）

### 4 0.1 段表示部

設定されたモードにより、1/10絞り、または、1/10EVで測定値を表示します。（P 12 参照）

### 5 シャッター速度／フレームレート表示部／シャッター開角度／照度表示部

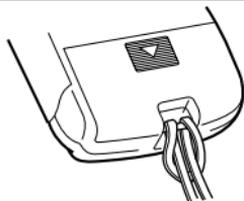
- シャッター速度優先測定のとき、点灯します。（P 12、16 参照）
- S** シャッター速度が秒単位のとき、点灯します。（P 12、16 参照）
- f/s** シャッター速度がフレームレートのとき、点灯します。（P13、P 14 参照）
- Ang** シャッター開角度が180° 以外のとき、点灯します。（シネカメラモードのみ表示）（P15参照）
- lx** 簡易照度測定（ルクス）のとき、点灯します。（カスタム設定にて選択）（P13、15 参照）

### 6 電池容量表示部（P 4 参照）

# 3 ご使用前に

## 1. ストラップの付け方

- 1) ストラップをストラップ掛けに通します。
- 2) ストラップ先端の輪の中にストラップの反対側を通してください。

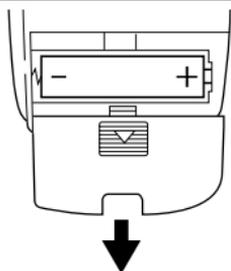


### 警告

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

## 2. 電池の入れ方

- 1) 単三型電池を 1 本用意します。
- 2) 電池ふたを矢印の方向にひいて外します。
- 3) 電池室の+-表示に合わせて入れてください。
- 4) 電池ふたを本体に合わせスライドして閉めます。確実にかみ合ったことを確認してください。



### 警告

- 電池を火の中に入れてたり、ショート、分解、加熱、充電池以外の充電は絶対にしないでください。電池が破裂し、火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

### ご注意

- 電池は-（マイナス）側から入れてください。取り外すときは+（プラス）側から取り外してください。
- 電池の液漏れ等で本機に影響を与えることがありますので、長期間ご使用にならないときは電池をとりだして保管してください。

### 3. 電源の ON/OFF

電源 ON：電源ボタンを押します

電源 OFF：電源ボタンを1秒以上押します。本機がOFFし、表示が消えます。

#### ! ご注意

- 電源ボタンのON/OFFの間隔は3秒以上あけてください。

#### ご参考

- 液晶に何も表示されない場合は、電池容量が十分あるか、また電池が「+」「-」逆に挿入されていないかを確認してください。
- 電源をOFFしても、操作中の設定値・測定値は記憶されており、電源をONすると再表示されます。

### 4. 電池容量の確認

電源をONすると液晶表示部に電池容量を示すマークが表示されます。

- |   |    |                 |
|---|----|-----------------|
|  | 点灯 | 電池容量は十分です。      |
|  | 点灯 | 予備の電池を用意してください。 |
|  | 点滅 | 直ちに電池を交換してください。 |

#### ご参考

- ・ 電池容量がない状態では、電源をONした後、液晶表示が現れ、すぐに表示が消える場合がありますが、故障ではありません。新しい電池に交換してください。予備の電池を予め用意しておくことをお勧めします。
- ・ 連続測光した場合、本機の電池寿命は常温で下記のとおりです。(当社試験条件)  
マンガン電池 約10時間  
アルカリ電池 約20時間

## 5. 測定中の電池交換

- 1) 必ず電源を「OFF」してから電池交換を行ってください。
- 2) 電池交換後または測定中、液晶表示部に異常な表示（設定していない表示等）が現われた場合や、操作ボタンを押しても動作しない場合などは、電池を一度取り出し 10 秒以上経過してから入れ直してください。

## 6. 自動電源 OFF 機能

省電力設計のため使用后（最後にいずれかのボタン操作後）約4分で自動的にすべての表示が消え電源はOFFとなります。

### ご参考

- ・ 自動電源OFF機能が働いた場合と、電源ボタンをOFFした場合のいずれでも設定値・測定値は記憶されており、電源ボタンをONすることで再表示されます。
- ・ 電源が切れた状態で電源ボタンが押され続けたときは、電源はいったんONしますが約1分後に自動的にOFFになります。（輸送中または保管中に電源ボタンが押されたままになっていた場合でも電池の消費を避けることができます）。

## 1. 受光方式の設定

- 1) 入射光式と反射光式の切り換えは光球の取付台部をクリックする位置まで確実にスライドさせ、使用する受光方式に切り換えます。



入射光式



反射光式



切り換え操作

### ! ご注意

- 切り換えを行う場合は必ず光球の取付台部で行ってください。光球を持って操作すると、破損する場合があります。
- 光球は大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。光球が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

## 2. 入射光式で測定する場合

入射光式の測定は、光球が平板機能を使って測定する方法です。  
被写体位置で光球をカメラのレンズに向けて測定します。



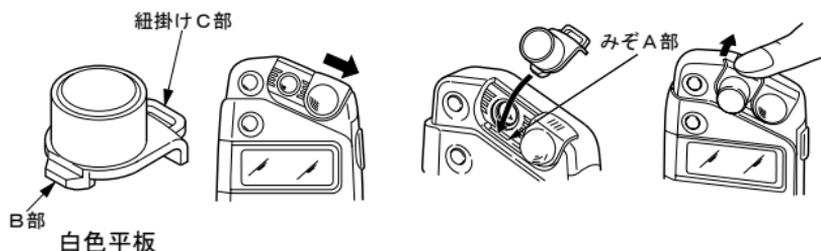
- 1) 光球を使っでの測定  
人物や建物など立体的な被写体を測定するときに使用します。測定方法は、基本的には被写体位置で光球をカメラ方向（正しくはレンズの光軸方向）に向けて測定する方法です。

## 4 基本操作

### 2) 白色平板を使つての測定

原稿、書籍、絵画など平面的な被写体を測定するとき又は、照明比の測定 (P24 参照)、簡易的に照度を測定 (P 13、P15 参照) するときに使用します。

平板機能への切り換えは、光球を反射光測定の場合と同様に右にスライドさせます。白色平板のB部を、受光部のみぞA部に斜めに差込み、次に紐掛けC部を押してはめ込みます。



白色平板を取り外すには、取り付け方法と逆の順序で外します。  
白色平板の紐掛けC部を起こすようにして外してください。

#### ! ご注意

- 間違った取り付け方、取り外し方をしますと破損の原因になります。正しくお取り扱いください。
- 入射光式測定するとき、白色平板を光球の右側に取り付けて測定しないでください。白色平板が光をさえぎり正しい値が得られません。
- 白色平板は大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。光球が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

### 3. 反射光式で測定する場合

カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に露出計のレンズを正しく向けて測定します。

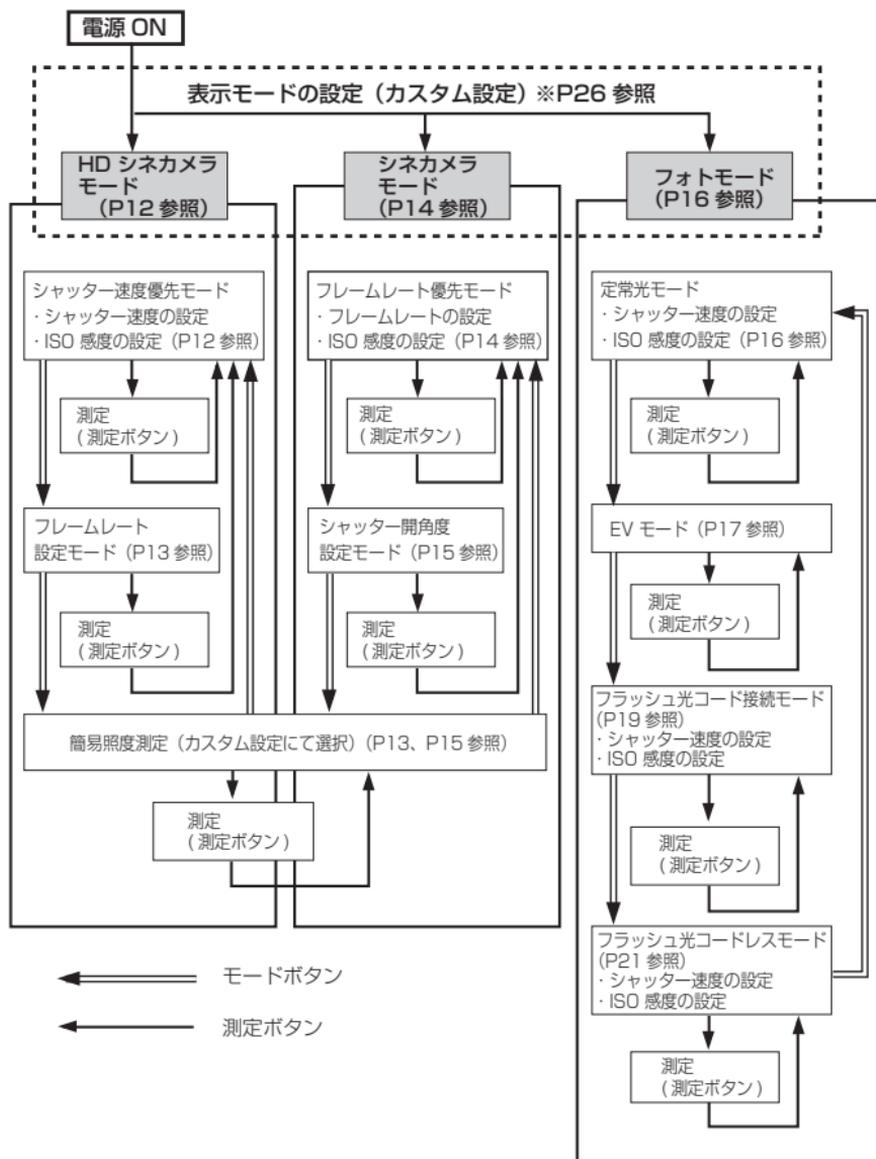


- 1) この方法は被写体に当たって反射した光の明るさ（輝度）を測る方法で、被写体位置まで近づけない場合や発光する被写体（ネオン等）、透過光（ステンドグラス等）を測定する場合に適しています。
- 2) カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に露出計のレンズを正しく向けて測定します。

#### ! ご注意

- 反射光式の場合、 $40^\circ$ の受光角で測定するため、カメラ位置で測定すると被写体全体の平均測定になります。
- 部分測定するときは、できるだけ被写体主要部に近づいて測定してください。その場合露出計等の影が測定部に入らないように注意してください。
- レンズは大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。光球が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

## 4. 基本操作フロー



## 5. 表示モードの選択

使用するカメラ機材に適した表示モードをカスタム設定にて選択します。(P26 参照)

**Hd\_C** [Hd\_C] HD シネカメラモード  
(初期設定)

**[CINE]** [CINE] シネカメラモード

**PHOTO** [PHOTO] フォトモード



## 6. 測定モードの設定

各表示モードによって、設定できる測定モード（測定値表示や設定内容）が異なります。

- 1) モードボタンを押して使用する測定モードを選択します。(P9 参照)

HD シネカメラモード：(定常光のみ)

- ・シャッター速度優先モード
- ・フレームレート設定モード
- ・簡易照度測定モード(カスタム設定にて選択)

シネカメラモード：(定常光のみ)

- ・フレームレート優先モード
- ・シャッター開角度設定モード
- ・簡易照度測定モード(カスタム設定にて選択)

フォトモード：

- ・シャッター速度優先モード(定常光)
- ・EVモード(定常光)
- ・フラッシュ光コード接続モード(シャッター速度優先モード)
- ・フラッシュ光コードレスモード(シャッター速度優先モード)



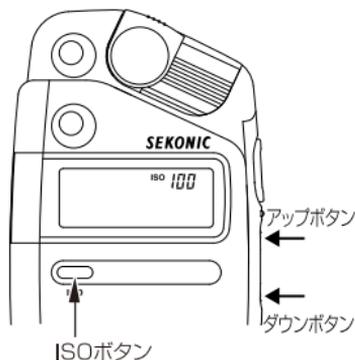
## 4 基本操作

### ご参考

- ・ ISO ボタンを押しながらモードボタンを押すと一つ前の測定モードに変更ができます。
- ・ 定常光とは、自然光（太陽光）やタングステンランプ、蛍光灯のような連続光のことです。
- ・ フラッシュ光とは、フラッシュまたはフラッシュバルブ（閃光電球）のような瞬間光のことです。

## 7. ISO 感度の設定

- 1) ISO ボタンを押しながらアップボタン、又はダウンボタンを押して使用する、ISO 感度を設定します。
- 2) ISO 感度の変更は、測定後でも行えます。測定後に ISO 感度を変えると新たに換算された測定値を表示します。



### ご参考

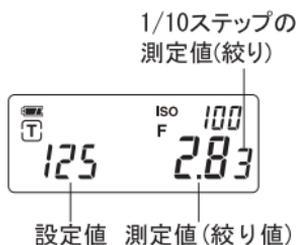
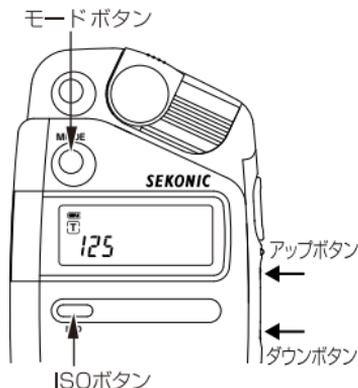
- ・ アップボタン、又はダウンボタンを 1 秒以上押し続けると連続して設定値が変わります。

## 1. HDシネカメラモード

デジタルカメラのムービー機能やデジタルビデオカメラなど、フレームレートとシャッター速度の設定ができるカメラを使う場合に適したモードです。測定すると標準露出(絞り値)が表示されます。また、このカメラモードには、簡易照度測定モード(カスタム設定にて選択)があります。HDシネカメラモードの選択はカスタム設定をご参照下さい。(P26 参照)

### 1-1. シャッター速度優先モードの測定

- 1) モードボタンを押して、  
 シャッター速度優先モードにします。
- 2) ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、希望のISO 感度に設定します。(P11 参照)
- 3) アップボタン、またはダウンボタンを押して、希望のシャッター速度に設定します。
- 4) 必要があれば、フレームレート設定モードにてフレームレート(初期設定は24fps)を設定します。(P13 参照)
- 5) 測定ボタンを押して測定します。測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値(絞り値)が表示されます。測定ボタンを押している間は、連続測定します。



#### ご参考

- ・ シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により1段、1/2段、1/3段毎のステップに切り換えることができます。(P26 参照)
- ・ 設定できるシャッター速度は、1/8秒……1/6400、1/8000秒です。1/8000秒の次に1/24、1/25、1/30、1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120秒が別に設定できます。
- ・ フレームレートによりシャッター速度の下限が変わります。(たとえば、30f/sが設定されているときは、シャッター速度は1/30秒から設定可能です。)

### ご参考

- 測定後、シャッター速度または ISO 感度を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- 本機の測定範囲を超える明るさ(又は暗さ)のときは Eo(又は Eu)が点滅し、測定できないことを表します。(P23 参照)

### 1-2. フレームレートの設定

- 1) モードボタンを押して、**f/s** フレームレート設定モードにします。
- 2) アップボタン、またはダウンボタンを押して、希望のフレームレートに設定します。
- 3) 測定ボタンを押すと、**T** シャッター速度優先モードに戻り、測定をします。



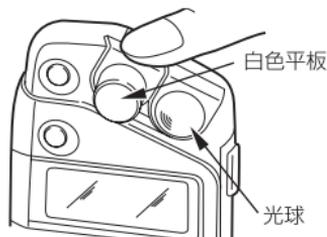
### ご参考

- 設定できるフレームレートは、8、12、16、18、24、25、30、32、48、50、60、64、96、100、120、128f/s です。
- フレームレートによりシャッター速度の下限が変わります。(たとえば、30f/s が設定されているときは、シャッター速度は 1/30 秒から設定可能です。)

### 1-3. 簡易照度の測定

簡易照度の表示方法は、カスタム設定をご参照下さい。(P26 参照)

- 1) 付属品の白色平板を取り付けます。(P7 参照)
- 2) モードボタンを押して、簡易照度測定モードにします。
- 3) 測定したい面(光源)と受光部が平行になるようにして測定ボタンを押すと、そのときの照度が表示されます。測定ボタンを押し続けている間は、連続測定をします。



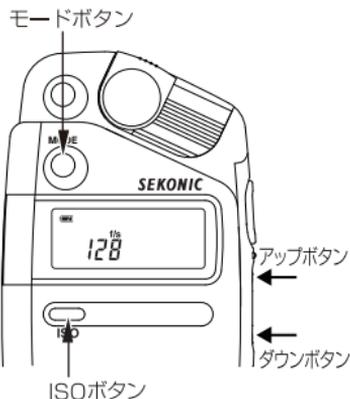
## 2. シネカメラモード

映画撮影カメラなどフレームレートとシャッター開角度が設定できるカメラを使う場合に適したモードです。測定すると標準露出が表示されます。また、このカメラモードには、簡易照度測定モード（カスタム設定にて選択）があります。

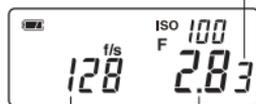
シネカメラモードの選択はカスタム設定をご参照下さい。（P26 参照）

### 2-1. フレームレート優先モードの測定

- 1) モードボタンを押して、**f/s** フレームレート優先モードにします。
- 2) ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、希望の ISO 感度に設定します。（P11 参照）
- 3) アップボタン、またはダウンボタンを押して、希望のフレームレートに設定します。
- 4) 必要があれば、シャッター開角度設定モードにてシャッター開角度（初期設定は 180 度）を設定します。（P15 参照）
- 5) 測定ボタンを押して測定します。  
測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。測定ボタンを押している間は、連続測定しません。



1/10ステップの測定値(絞り)



設定値 測定値(絞り値)

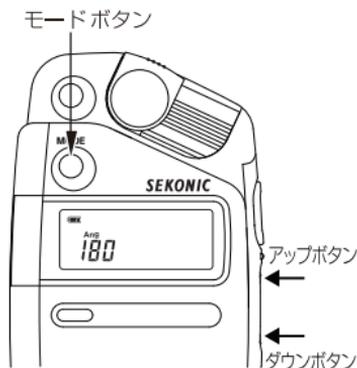
#### ご参考

- ・ 設定できるフレームレートは、8、12、16、18、24、25、30、32、48、50、60、64、96、100、120、128fps です。
- ・ 測定後、フレームレートまたは ISO 感度を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- ・ 本機の測定範囲を超える明るさ（又は暗さ）のときは、Eo（又は Eu）が点滅し、測定できないことを表します。（P23 参照）

## 5 測定

### 2-2. シャッター開角度の設定

- 1) モードボタンを押して、**Ang** シャッター開角度設定モードにします。
- 2) アップボタン、またはダウンボタンを押して、希望のシャッター開角度を設定します。
- 3) 測定ボタンを押すと、**f/s** フレームレート優先モードに戻り、測定をします。



#### ご参考

- ・ 設定できるシャッター開角度は、45°、90°、180°、270°、360°です。

### 2-3. 簡易照度の測定

簡易照度の表示方法は、カスタム設定をご参照下さい。(P26 参照)

- 1) 付属品の白色平板を取り付けます。(P7 参照)
- 2) モードボタンを押して、簡易照度測定モードにします。
- 3) 測定したい面(光源)と受光部が平行になるようにして測定ボタンを押すと、そのときの照度が表示されます。測定ボタンを押している間は、連続測定します。



### 3. フォトモード

写真用カメラ（フィルム / デジタル）を使う場合に適したモードです。このカメラモードでは、定常光モード、フラッシュ光コードレスモード、フラッシュ光コード接続モードがあります。測定すると標準露出（絞り値）を表示します。

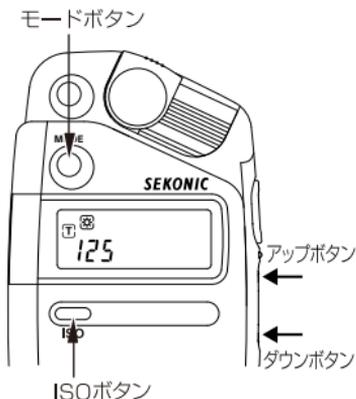
フォトモードの選択はカスタム設定をご参照下さい。（P26 参照）

#### 3-1. 定常光の測定

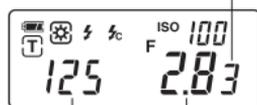
この測定方法には、シャッター速度優先、EV値の測定モードがあります。モードボタンを押して、 定常光モードに切り換えます。

##### 3-1-1. シャッター速度優先モードの測定

- 1) モードボタンを押して、 シャッター速度優先モードにします。
- 2) ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、希望のISO 感度に設定します。（P11 参照）
- 3) アップボタン、ダウンボタンを押して、希望のシャッター速度に設定します。
- 4) 測定ボタンを押して測定します。測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。測定ボタンを押している間は、連続測定します。



1/10ステップの測定値(絞り)



設定値 測定値(絞り値)

#### ご参考

- ・ シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により1段、1/2段、1/3段毎のステップに切り換えることができます。（P 26 参照）
- ・ 設定できるシャッター速度は、60 秒、50 秒、45 秒……1 秒、0.8 秒……0.3 秒、1/4……1/6400、1/8000 秒です。

### ご参考

- 測定後、シャッター速度または ISO 感度を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- 測定値が表示範囲および測定範囲を超える場合があります。設定値を変更するか、明るさを調整してください。(P23 参照)

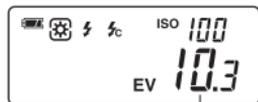
### 3-1-2. EVモードの測定

- 1) モードボタンを押し、**EV**モードにします。

モードボタン



- 2) 測定ボタンを押して測定します。測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値 (EV 値) を表示します。測定ボタンを押している間は連続測定します。



測定値 (EV 値)

### ご参考

- EV 値 (Exposure Value) とはシャッター速度と絞り値で組み合わせられる一定の光量を対数的に表したものです。1 EV 変化すると光量は倍 (又は 1/2) になります。
- 絞り値 (AV=Aperture Value)、シャッター速度値 (TV=Time Value) と EV 値との関係は  $EV = AV + TV$  となります。この関係式から、ある一定の EV 値に対し、絞りとシャッター速度の組み合わせが複数ある事がわかります。

☆ 絞り値・シャッター速度値・EV 値対照表

$$EV = AV + TV$$

(ISO 100 の時)

		AV	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
TV			1.0	1.4	2.0	2.8	4.0	5.6	8.0	11	16	22	32
0	1s		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1/2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2	1/4		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3	1/8		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
4	1/15		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
5	1/30		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
6	1/60		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
7	1/125		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	1/250		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
9	1/500		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
10	1/1000		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

※横軸は絞り値。縦軸はシャッター速度値。グレー地の文字がEV 値。

### 3-2. フラッシュ光の測定

この測定方法には、コード接続、コードレスの各測定モードがあります。フラッシュ光を測定すると、液晶表示部にシャッター速度と絞り値（定常光とフラッシュ光をミックスした値=全光量）が表示されます。

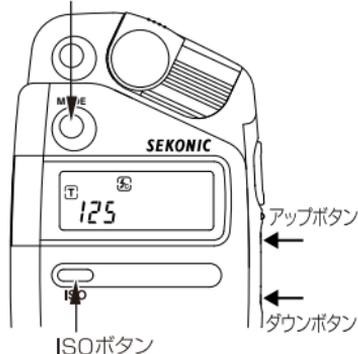
#### 3-2-1. フラッシュ光コード接続モードの測定

フラッシュと本機をシンクロコード（別売り）で接続して測定を行う方法でフラッシュとの同調を確実にしたい場合や、フラッシュバルブ（閃光電球）の測定のときに使用します。

- 1) フラッシュのシンクロコードを本機のシンクロターミナルに接続します。
- 2) モードボタンを押して  
 フラッシュ光コード接続モードに切り換えます。
- 3) ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、希望のISO感度に設定します。（P11 参照）
- 4) アップボタン、又はダウンボタンを押して、シャッター速度を設定します。



モードボタン



ISOボタン

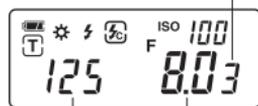
アップボタン

ダウンボタン

#### ! ご注意

- 5) 測定ボタンを押すと、フラッシュが発光し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。

1/10ステップの測定値（絞り）



設定値  
測定値（絞り値）  
（シャッター速度）

**！ 警告**

- 乳幼児等が誤ってシンクロターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

**！ 注意**

- 雨中、水しぶきがかかる場所や水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。  
また、製品が故障する原因となる場合があります。

**！ ご注意**

- シンクロターミナルにシンクロコードを接続するときや本機の電源ボタンを操作した場合フラッシュによっては発光する場合があります。
- 極端にトリガー電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「フラッシュ光コードレスモード」で測定してください。(P 21 参照)

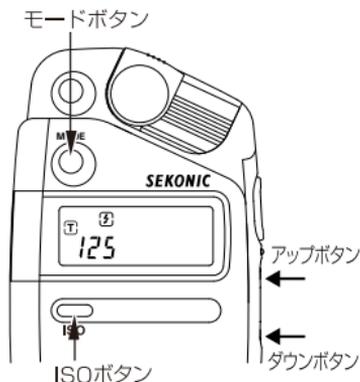
**ご参考**

- ・ シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により1段、1/2段、1/3段毎のステップに切り換えることができます。(P 26 参照)
- ・ 設定できるシャッター速度は、1秒、0.8秒…0.3秒、1/4…1/500秒の次に1/75、1/80、1/90、1/100秒が設定できます。
- ・ 測定後、シャッター速度を変えると、測定値(絞り値)はゼロとなります。この場合は再測定をお願いします。
- ・ 測定後、ISO感度を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- ・ 測定値が表示範囲および測定範囲を超える場合があります。設定値を変更するか、明るさを調整してください。(P23 参照)

### 3-2-2. フラッシュ光コードレスモードの測定

この測定モードは一般的にフラッシュと本機の距離がありシンクロコードが届かないときや、シンクロコードなしで自由に測定したいときに使用します。

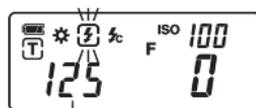
- 1) モードボタンを押して  
 フラッシュ光コードレスモードに切り換えます。
- 2) ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、希望の ISO 感度に設定します。(P11 参照)
- 3) アップボタン、又はダウンボタンを押して、シャッター速度を設定します。



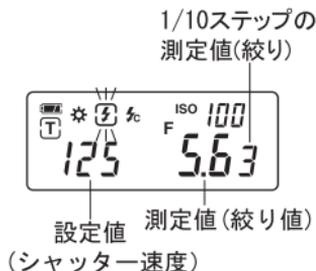
#### ! ご注意

- シャッター速度は、使用する機器の同調範囲内で設定してください。

- 4) 測定ボタンを押すと、測定待機状態に入り、  
 アイコンが 90 秒間点滅します。



- 5)  アイコン点滅中にフラッシュ光を手動で発光させます。測定が行われ、測定値が表示されます。



#### ご参考

- フラッシュ光を発光する前に  アイコンの点滅が終了したときや、もう一度測定し直したいときは、手順 4) ~ 5) を繰り返してください。

**！** ご注意

- フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合（9EV以上の差）は、光を感知しないときがありますので、そのときは「フラッシュ光コード接続モード」にして測定してください。（P 19 参照）
- ラピッドスタート形蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの光をフラッシュ光として判別し、測定してしまうことがあります。  
このようなときは「フラッシュ光コード接続モード」にして測定してください。（P 19 参照）
- 測定待機中にフラッシュを発光させなくても、受光部に急激な光の変化が起きると測定してしまうことがあります。このような場合は「フラッシュ光コード接続モード」を使用してください。（P 19 参照）

**ご参考**

- ・ シャッター速度の設定は 3-2-1 項の「フラッシュ光コード接続モード」の測定（P 19 参照）と同様です。
- ・ 測定後、ISO 感度を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- ・ 測定値が表示範囲および測定範囲を超える場合があります。  
測定値を変更するか、明るさを調整してください。（P23 参照）

## 4. 表示範囲 / 測定範囲を超えたときには

### 4-1. 表示範囲を超えたとき

#### 4-1-1. 「E.o」が点灯した場合

測定値が本機の測定範囲内であっても、表示範囲の上限を超えた場合は、「E.o」が点灯します。その場合は、以下の方法で測定値を表示させることができます。

- 1) アップボタンを押して、シャッター速度を高速側に変更する。
- 2) ISO ボタンを押しながらダウンボタンを押して、ISO 感度を下げる。
- 3) 光源の光量調整が可能であれば、光量を少なくして再測定を行う。



表示例:HDシネカメラモード

#### 4-1-2. 「E.u」が点灯した場合

測定値が本機の測定範囲内であっても、表示範囲の下限を超えた場合は、「E.u」が点灯します。その場合は、以下の方法で測定値を表示させることができます。

- 1) ダウンボタンを押して、シャッター速度を低速側に変更する。
- 2) ISO ボタンを押しながらアップボタンを押して、ISO 感度を上げる。
- 3) 光源の光量調整が可能であれば、光量を多くして再測定を行う。

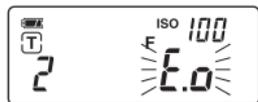


表示例:HDシネカメラモード

### 4-2. 測定範囲を超えたとき

#### 4-2-1. 「E.o」が点滅した場合

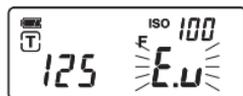
本機の測定範囲を超える明るさのときは、「E.o」が点滅し、測定ができません。この場合は、光源の光量調整が可能であれば、光量を少なくするか、光源から離れて再測定してください。



表示例:HDシネカメラモード

## 4-2-2. 「E.u」が点滅した場合

本機の測定範囲に届かない暗さのときは、「E.u」が点滅し、測定ができません。この場合は、光源の光量を調整が可能であれば、光量を多くするか、光源に近づいて再測定してください。



表示例:HDシネカメラモード

## 5. 照明比の測定

スタジオでのライティングの確認や照明ムラのチェックを行う方法です。

- 1) 付属品の白色平板を取り付けます。  
(P 7 参照)
- 2) 主光源のみ点灯させます。  
被写体位置で受光部を主光源に向けて測定します。
- 3) 次に補助光源のみ点灯します。  
この状態で光球部を補助光源に向けて、測定します。
- 4) 主光源と補助光源の測定値の差より、照明比を求めます。

測定値のEV差	照明比
1	2:1
1.5	3:1
2	4:1
3	8:1
4	16:1
5	32:1

## ご参考

- ・ 入射光測定時の露出決定は、主光源と補助光源を点灯し光球を使用してカメラの光軸に向けて測定します。

# 6 機能

## 1. 指示値補正機能

本機は当社の基準により標準的な校正がされていますが、特に必要な場合（デジタルカメラの露出に合わせる、別の露出計の測定値に合わせる、など）、 $\pm 1 \text{EV}$ の範囲を0.1ステップ単位で補正できます。

- 1) 指示値補正を行いたい表示モード(HDシネカメラ、シネカメラ、フォトモード)を予め設定します。

### ご参考

- ・ 指示値補正は、表示モード毎に独立して設定できます。設定したい表示モードを予めカスタム設定にて選択します。(P26 参照)

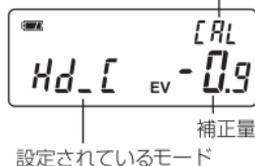
- 2) 電源がOFFの状態、ISOボタンを押しながら、電源ボタンをONにしてください。

指示補正機能になると液晶右上に指示値補正を示す「CAL」、左下に設定されている表示モードが表示されます。また、右下に現在設定されている補正量が表示されます。(初期設定は「0.0」)

- 3) アップボタン、又はダウンボタンを押して、補正量を選択します。



指示値補正(キャリブレーション)



### ! ご注意

- ・ プラス補正は露出オーバー（画像が明るくなる）、マイナス補正は露出アンダー（画像が暗くなる）となります。
- ・ 補正する時は、十分なテスト撮影の結果を元にご自分の好みに合わせて補正してください。

- 4) 電源ボタンを押すと、設定内容を保存して電源をOFFします。

## 2. カスタム設定機能

ご使用にあわせて、以下のカスタム設定が可能です。

カスタム設定番号	設定内容	カスタム設定項目		
CS1	表示モードの切換	HD シネカメラモード "Hd_C" (※ 1)	シネカメラモード "CINE"	フォトモード "PHOTO"
CS2	絞り値とシャッター速度のステップ設定	1ステップ "1.0" (※ 1)	1/2ステップ "0.5"	1/3ステップ "0.3"
CS3	簡易照度表示設定 (※ 2)	非表示 "NONE" (※ 1)	ルクス "lx"	

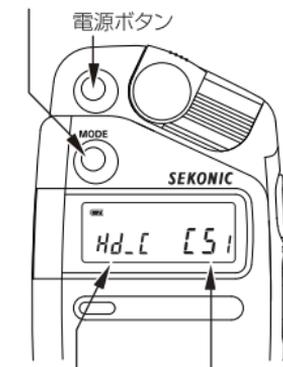
※ 1 初期設定となります。

※ 2 簡易照度はフォトモードでは表示されません。

- 1) カスタム設定モードにするには、電源が OFF の状態で、モードボタンを押しながら、電源ボタンを ON にしてください。

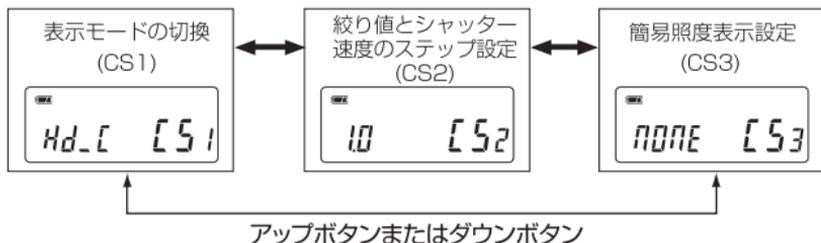
カスタム設定モードになると、液晶表示の右側にカスタム設定を示す「CS」と設定番号「1～3」が表示されます。また、液晶表示の左側には現在の設定項目が表示されます。

モードボタン



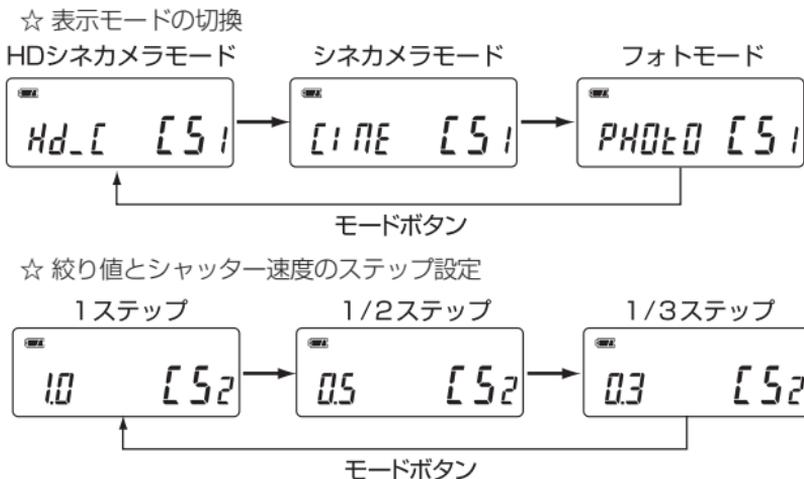
カスタム設定項目 カスタム設定番号

- 2) アップボタン、又はダウンボタンを押して変更したいカスタム設定番号を選択します。



## 6 機能

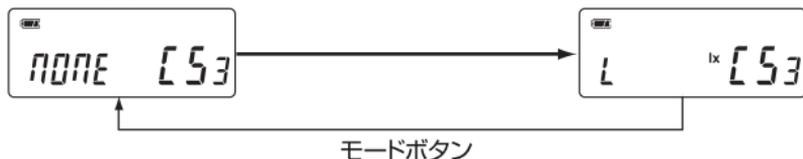
3) モードボタンを押すごとに、カスタム設定項目が変更します。



### ! ご注意

- 1/2 ステップ又は 1/3 ステップ設定時には、1 ステップ設定時に表示される 1/10 の測定値は表示されません。
- フォトモードでEVモードをご使用のときは、どのステップに設定されていても、1/10 の測定値が表示されます。

☆ 簡易照度表示設定  
非表示



### ! ご注意

- 簡易照度は、HD シネカメラモード、シネカメラモードのみにて表示されます（フォトモードでは表示されません）。

4) 電源ボタンを押すと、設定内容を保存して電源を OFF します。

- シンクロコード (別売)  
長さ 5m のコードは3つのプラグを持ち、露出計、フラッシュとカメラを接続、同調させることができますので、撮影するときにもコードを差し換える必要がなく便利です。  
又、シンクロコードの一方の接続端子は、ロック機構がついておりますので露出計側に使用すると確実に接続することができます。
- 標準反射板 (別売)  
18%の反射率を持つグレーカード(110×102mm)で、反射率の高い(白い物)、低い(黒い物)被写体や著しく異なった反射率をもつ被写体を測定する場合、その影響を受けないようにするため被写体の平均反射率を18%とみなして露光量を決定するときに使用します。



# 8 仕様

形式	● フラッシュ光及び定常光用デジタル露出計
受光方式	● 入射光式及び反射光式
受光部	● 入射光式 光球及び平板 ● 反射光式 レンズ(受光角 40 度)
受光素子	● シリコンフォトダイオード
測定方式	● HD シネカメラモード ・定常光 シャッター速度優先測定 フレームレート設定 簡易照度測定 ● シネカメラモード ・定常光 フレームレート優先測定 シャッター開角度設定 簡易照度測定 ● フोटモード ・定常光 シャッター速度優先測定 EV 測定 ・フラッシュ光 シンクロコードを用いて測定(コード接続) シンクロコードなしで測定(コードレス)
測定範囲 (ISO 100)	● 定常光 EVO ~ EV19.9 2.50lx ~ 190,000lx FNo.1.0 ~ FNo.90.9
繰返し精度	● フラッシュ光
校正定数	● ± 0.1 EV 以内
表示範囲	● 入射光式 光球 C = 340 平板 C = 250 ● 反射光式 K = 12.5 ● ISO 感度 ISO 3 ~ 8000 (1/3 ステップ) ● シャッター速度 ・ HD シネカメラモード 定常光 1/8 秒 ~ 1/8000 秒 (1,1/2,1/3 ステップ) ・ フोटモード 定常光 60 秒 ~ 1/8000 秒 (1,1/2,1/3 ステップ) フラッシュ光 1 秒 ~ 1/500 秒 (1,1/2,1/3 ステップ) 他 1/75,1/80,1/90,1/100 秒
その他の機能	● フォーム (f/s) ・ HD/シネカメラモード 8,12,16,18,24,25,30,32,48,50, 60,64,96,100,120,128f/s ● シャッター開角度 ・ シネカメラモード 45°, 90°, 180°, 270°, 360° ● 絞り値 FNo.1.0 ~ FNo.90.9(1, 1/2, 1/3 ステップ) ● EV 値 EV - 6.0 ~ EV27.2 (0.1 ステップ)
	● 測定範囲外及び表示範囲外 E.u (アンダー), E.o (オーバー) 警告表示
	● 電池容量表示機能
	● 自動電源 OFF 機能 (最終操作後約 4 分)
	● カスタム設定機能 3 項目設定可能
	● 指示値補正機能 -1.0 ~ 1.0EV (0.1 ステップ)
使用電池	● 1 本 (アルカリ、マンガン、リチウム、ニッケル水素、ニッケル系のいずれか)
使用温度範囲	● 0°C ~ 40°C
保存温度範囲	● - 20°C ~ 60°C
寸法	● 約 63 (幅) × 110 (高さ) × 22 (厚さ) mm
質量	● 約 95 g (電池含む)
標準付属品	● ソフトケース、ストラップ、白色平板、白色平板用ソフトケース、 シンクロターミナルキャップ、単 3 形乾電池、使用説明書、保証書

この使用説明書に記載の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

### ! ご注意

- 落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。故障の原因になります。
- 高温または多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化による湿気に注意してください。結露する場合があります故障や誤動作の原因になります。
- 本機の温度が $-10^{\circ}\text{C}$ 以下になると、液晶表示の応答が非常に遅くなり、表示が読みにくくなります。温度が $0\sim 10^{\circ}\text{C}$ では液晶表示の応答が若干遅くなりますが、ご使用には差し支えありません。また、温度が $50^{\circ}\text{C}$ を超えると液晶表示が黒くなり、表示が読みにくくなりますが常温に戻るともとの状態になります。
- 真夏の直射日光下や暖房設備等の近くに放置すると、気温に比べて本機の温度がかなり上昇することがありますので、このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 電池の液漏れ等で本機に影響を与えることがありますので、長期間ご使用にならないときは電池をとりだして保管してください。

### お手入れについて

- 精度に影響を与えるおそれがありますので、光球、レンズ、白色平板にはホコリ、ゴミ、キズが付かないようにしてください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。  
有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は、絶対に使用しないでください。

# 10 アフターサービスについて

\* 弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ● 無料保証期間などについて

1. 無料保証期間はご購入上げ日より1年間です。
2. 保証書におご購入上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 無料保証期間でも有料修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

## ● 補修用品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われるものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

## ● 修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的・性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+) (-)の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

## ● お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただき、それ以外の責は負いかねます。



## **株式会社 セコニック**

〒 178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14  
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144  
<http://www.sekonic.co.jp>

JE2097561